

“ヒラメキ”からはじまる  
企業ストーリー

『夫婦、企業で一体となり仕事と家庭の両立を目指す、イクメン協会』

文 牛久保洋次

text by Yoichi Ushikubo

【未常識】今は常識ではない、でも未来に常識となる事：これは私が作った造語です。

「一億総活躍社会」実現に向けた取組の中で、「働き方改革」は国を挙げた大きなチャレンジとなっております。1980年代から90年代に男女雇用機会均等法や育児休業法（現在の育児・介護休業法）など整備され、就業継続をする女性が増えた事もあり、2017年、共働き世帯は65%以上に増えました（1980年・約35%）。しかし、女性が活躍する場が創出される一方で、男性側が「育児をする（参加する）環境作りはまだまだ周囲の理解も足りず、不十分なが現状ではないでしょうか。

今回は「男は仕事、女は家庭」という日本の風土を変え、子育てを支え合う幸せな夫婦を増やす事に邁進している【一般社団法人イクメンコンサルタント協会（以下・イクメン協会）】をご紹介します。いただきます。

「イクメン」という言葉が世の中に蔓延し、育児に積極的な男性も増えてきましたが、厚生労働省が2017年11月に発表した調査結果によると、男性正社員の育児取得率の平均はたったの4.2%で、取得率が0%の企業は87.6%にも上ります。

一昔前に比べて、地域コミュニティの希薄化・核家族化が進行している現代では子育てを一人で抱え込む母親が増え、その結果として子育てストレス

から産後鬱・児童虐待・離婚率増加は社会問題にも発展しております。

イクメン協会では「子育てに男性も関わる環境を企業が創る。男性社員が育児休業を自発的に取りやすい企業風土を創る」という目的の下、企業内のイクメン推進の制度作りや理念の浸透の為に企業様向けのイクメン研修を実施しております。企業側のメリットとしても、職場環境の改善と共に取り組みがメディアに取り上げられることで、知名度アップやイメージアップに繋がりが、社員の職場定着や採用にも好循環を与えることが可能なのです。

夫婦向けに子育てストレスコントロール法や夫婦での家事育児譲渡法を伝える講座を開催し、イクメン教育推進を行っております。

また併せて、上記の取組みを推進していく専門家（イクメンコンサルタント）を全国で育成し、社会が一体となって社会問題を解決することに努めております。

【一般社団法人イクメンコンサルタント協会HP】  
<http://id-stop.com/>

今月の一言 「男性が育児をすることが当たり前になり、「イクメン」という言葉がなくなることを目指す！  
これが則ち【未常識の発見】



Profile

慶應義塾大学商学部 卒業  
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。  
現在、株式会社いかしい隊長、その他顧問数社。